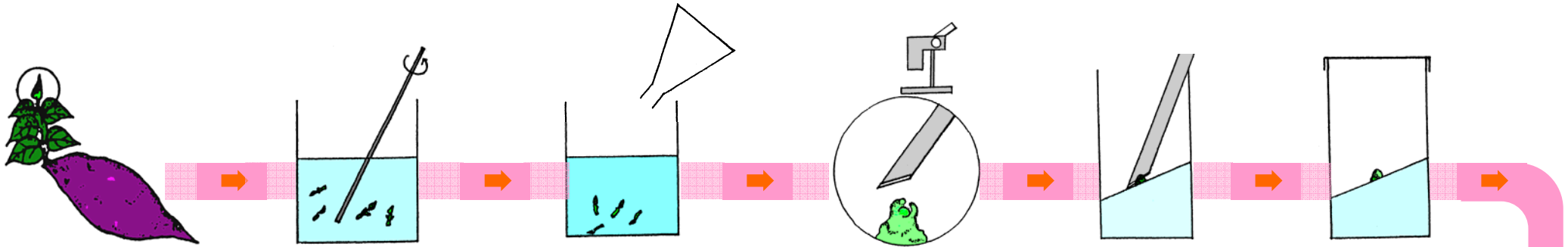


サツマイモの培養苗ができるまで



調整

イモから伸びる芽を収穫する。先端部分のみを切り取り、不用な部分を取り除く。

殺菌

培養作業をするために、流水で芽をよくすすぐ。その後、10～15分殺菌する。

洗浄

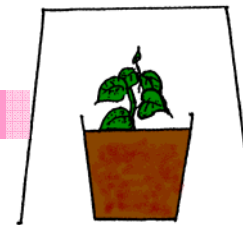
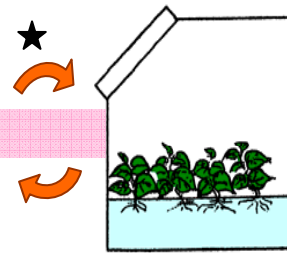
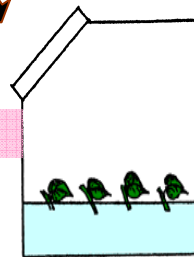
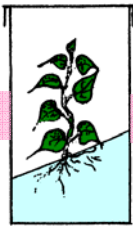
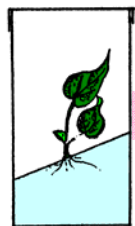
さらに、清潔にするため、滅菌水でそれぞれ3回すすぐ。

生長点培養（生長点摘出、植えつけ、培養）

無菌作業を行うための装置（クリーンベンチ）や顕微鏡を使い、芽から生長点（0.2～0.3 mm）を切り出す。

切り出した生長点を培地（※）に植えつける。※生長点が生長するために必要な栄養素を入れ、寒天等で固めたもの。

雑菌が混入しないよう、注意を払いながら培養室（25℃、16時間日長）で培養する。



3ヶ月後

培地の栄養素を吸収して、生長点から茎や葉が伸び、根も張ってくる。

4、5ヶ月後

さらに伸び、葉数も増える。

継代培養（分割、植えつけ）

クリーンベンチ等を使い、再び培養作業を行う。試験管の中で生長した苗を取り出し、伸びた苗を一節ずつ切り分ける。

切り分けた節をそれぞれ、新しい培地に植えつける。その後、培養室（25℃、16時間日長）で培養する。

1ヶ月後

節にあるわき芽から茎や葉が伸びて苗が生長する。

苗の数を増やす場合

順化

発根した苗を培養びんから取り出し、一株ずつ培養土に植えつける。始めは覆い（※）をかぶせ、様子を見ながら覆いをとり除く。※苗は高湿度状態で育つため、急に外気にさらすと枯れてしまう。

ウイルスフリー苗

培養して得られた苗は、ウイルスが取り除かれ、正常な苗と同様に元気な状態。